



## 「も」を以て貴しとなす

運動会まであと一週間。応援団の練習や準備等、6年生が本当によく頑張ってくれています。全体練習でも「気をつけ」「行進」など一つ一つの動きがきびきびとしており、立派な手本を示してくれています。

最高学年としての自覚を持ち、自分たちが学校をリードしていくんだという強い気持ちが前述の行動になっているのだと思います。素晴らしいことです。

また、そんな6年生の姿を下級生は見ています。きっと憧れをいただいているでしょう。応援団など「カッコいいな」「自分もやってみたい」と感じているかもしれません。やさしく教えてくれたことに感謝している者もいるでしょう。

6年生がお手本を見せたり、お世話をしたりしながら学校をリードする。下級生は、その姿に憧れ、感謝し、自分たちも6年生になったらと考える。

このような6年生と下級生のかかわりが学校を高めていきます。よりよいものを目指してがんばろうとする学校文化を継承し、発展させていきます。

運動会は、誰か一人が成長する場ではありません。互いにかかわりあいながら、6年生も、下級生も成長します。同じ学年においても一生懸命競技に取り組む中、みんなが高まっていきます。そのことに価値があります。

最初の学校通信で、共に高まること、「学び合い」が本年度の重点目標だとお知らせしました。

子どもたちが、「私が頑張った」「〇〇さんが上手になった」だけではなく、「私も、〇〇さんもがんばった」「私も、〇〇さんも上手になった」と言えるようになったら素敵だなと思います。共に学び合い、高まっていく。この「も」がとても大切です。

先日、ある雑誌の中で次のような言葉を見つけました。

「も」を以て貴しとなす

日本の文化も海外の文化も素晴らしい。共に認め合うことが大切だという趣旨で、日本文化史研究家のパラオ・マツアリーノさんが書かれたものです。いい言葉だなと感心しました。本校もこれを合言葉に高め合っていきたいと考えます。

自分のお子さんはもちろん、他のお子さん、他の学年にも少し目を向けていただき、成長を喜び合えたらうれしいです。



